

第73期 報告書

2021年4月1日～2022年3月31日

Asahi-Seiki

旭精機工業株式会社
証券コード：6111

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第73期（2021年4月1日から2022年3月31日まで）の事業の概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月



取締役社長

神谷 真二

事業の全般的状況

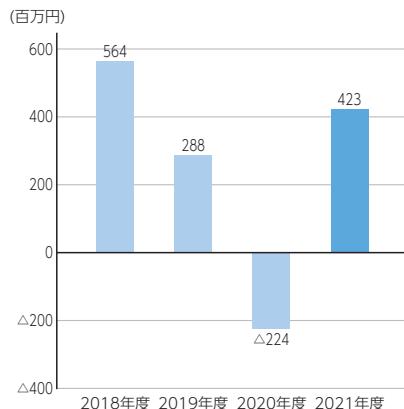
当期におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の長引く影響に加え、世界的な部材不足及び資源高の影響が出る中、ロシアのウクライナへの軍事侵攻による世界的な経済情勢の変化など、依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような状況のもと当社におきましては、引き続きプレス機械への受注が好調なうえ、精密金属加工品の需要も回復してきたことなどから、売上高は129億1千9百万円と前期比9.9%の増加となりました。利益面につきましては、主にプレス機械の生産性が向上したことなどから、営業利益は4億2千3百万円（前期は2億2千4百万円の営業損失）、経常利益は4億7千4百万円（前期は1億3千万円の経常損失）、当期純利益は、保有する投資有価証券の一部売却による特別利益を計上したことにより、

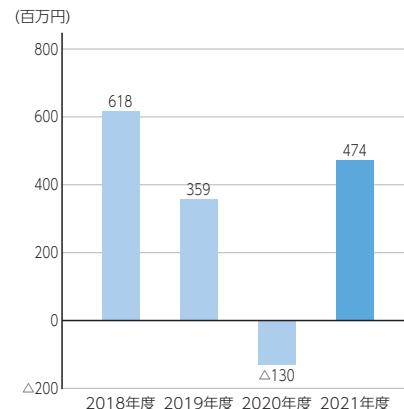
■売上高



■営業利益又は営業損失 (△)



■経常利益又は経常損失 (△)



5億4百万円と前期比23.3%の増加となりました。

設備投資の状況

当期中に実施いたしました設備投資は総額3億7千4百万円で、その主なものは、小口径銃弾製造設備の更新に1億7千2百万円、金属加工機械製造設備の拡充・合理化に1億1千6百万円及び精密金属加工品製造設備の拡充・合理化に5千7百万円であります。

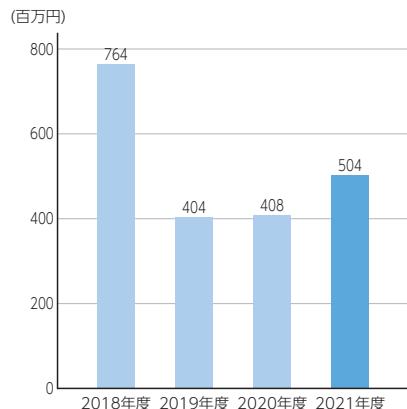
対処すべき課題

今後のわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の終息も未だ見えないことをはじめ、原材料価格の上昇やウクライナ情勢の動向などの懸念事項もあり、引き続き先行き不透明な状況が続くものと思われま。

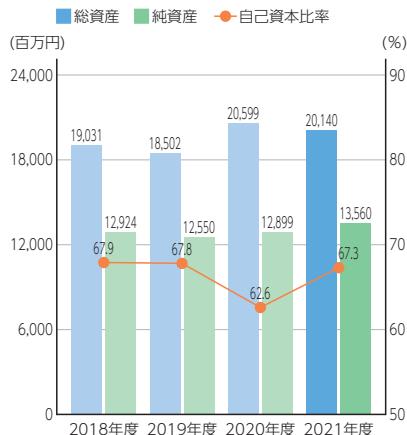
このような情勢のもと、当社は新型コロナウイルス感染症の拡大防止に万全を期すとともに、当社を取り巻く経営環境の変化などに有効に対応すべく、生産性の一層の向上を図りながら、市場ニーズに合致した製品の開発、画期的な新技術の追求、新市場の開拓等に積極的に取り組み、業績の向上に向け鋭意努力してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後ともなにとぞ格別のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

■当期純利益



■総資産・純資産・自己資本比率



■設備投資額・減価償却費



部門別状況

精密加工事業部における当期の売上高は、71億4千5百万円と前期比4.1%の増加となり、機械事業部における当期の売上高は、57億7千4百万円と前期比18.1%の増加となりました。

その内容は以下のとおりです。

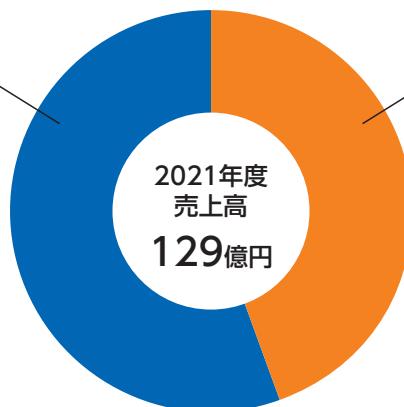
精密加工事業部

売上高 **71億円**
(55.3%)



機械事業部

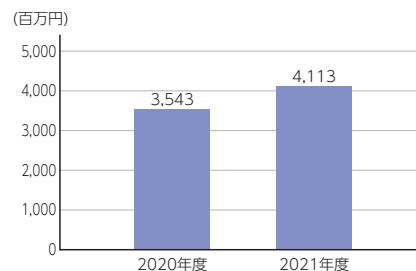
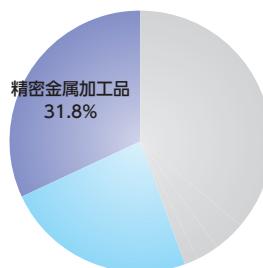
売上高 **57億円**
(44.7%)



■精密加工事業部

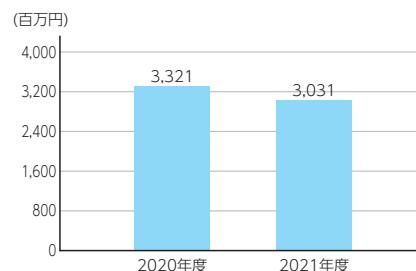
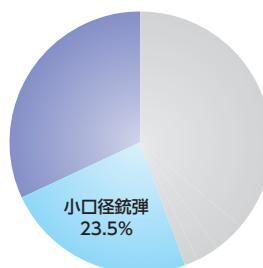
① 精密金属加工品

当期の売上高は、自動車関連、安全関連、水晶振動子関連の各部品を中心に幅広く需要が回復したため、41億1千3百万円と前期比16.1%の増加となりました。



② 小口径銃弾

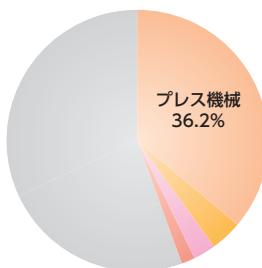
当期の売上高は、政府の予算執行を受け、30億3千1百万円と前期比8.7%の減少となりました。



■ 機械事業部

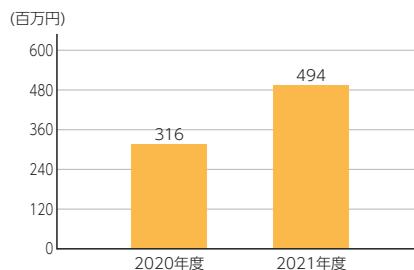
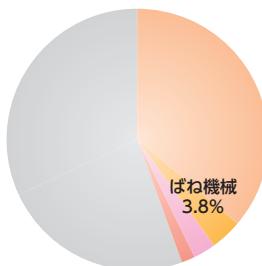
① プレス機械

当期の売上高は、旺盛な受注を背景としたリチウムイオン電池缶製造用プレス機械の増産の結果、46億7千2百万円と前期比28.4%の増加となりました。



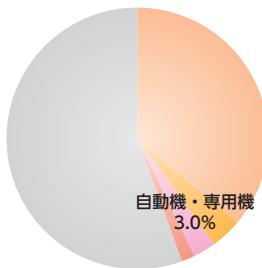
② ばね機械

当期の売上高は、コイリングマシンや研削機を中心に受注が回復したことから、4億9千4百万円と前期比56.5%の増加となりました。



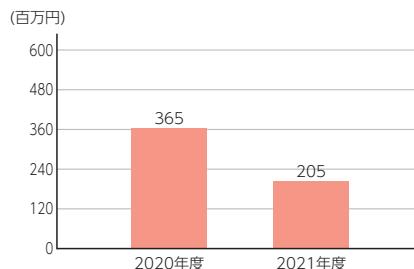
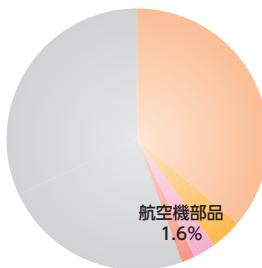
③ 自動機・専用機

当期の売上高は、受注は回復傾向にあるものの、リードタイムの長い機種が多いため、3億8千2百万円と前期比30.7%の減少となりました。



④ 航空機部品

当期の売上高は、旅客機の減産の影響を受け、2億5百万円と前期比43.7%の減少となりました。



貸借対照表

(単位：千円)

科 目	第72期 (2021年3月31日現在)	第73期 (2022年3月31日現在)
(資産の部)		
① 流動資産	13,141,240	12,764,296
現金及び預金	6,976,589	5,659,776
受取手形	43,101	28,755
電子記録債権	810,006	572,324
売掛金	2,003,407	2,462,499
製品	178,670	356,785
仕掛品	2,473,305	2,936,177
原材料及び貯蔵品	564,840	656,500
前払費用	22,421	26,382
その他	72,696	68,895
貸倒引当金	△3,800	△3,800
② 固定資産	7,458,120	7,376,343
有形固定資産	5,052,435	4,592,007
建物	1,960,299	1,897,681
構築物	321,258	306,789
機械及び装置	1,673,312	1,467,251
車両運搬具	16,163	13,281
工具器具備品	144,624	156,074
土地	665,733	665,733
リース資産	4,987	997
建設仮勘定	266,057	84,197
無形固定資産	91,213	67,781
ソフトウェア	84,930	64,913
リース資産	4,231	846
その他	2,051	2,021
投資その他の資産	2,314,471	2,716,554
投資有価証券	2,099,814	2,451,802
関係会社株式	10,000	10,000
長期前払費用	120	36,863
前払年金費用	46,641	90,106
繰延税金資産	30,090	—
その他	127,804	127,782
資産合計	20,599,360	20,140,639

Point ① 流動資産

前期末に比べ3億7千6百万円減少し、127億6千4百万円となりました。これは主に、仕掛品が4億6千2百万円、売掛金が4億5千9百万円それぞれ増加したものの、現金及び預金が13億1千6百万円減少したためです。

科 目	第72期 (2021年3月31日現在)	第73期 (2022年3月31日現在)
(負債の部)		
③ 流動負債	6,746,656	5,624,126
支払手形	261,060	161,818
電子記録債務	1,604,671	1,908,583
買掛金	665,866	756,101
短期借入金	2,930,000	1,700,000
リース債務	7,964	1,991
未払金	495,285	334,007
未払費用	78,941	87,941
未払法人税等	247,240	216,292
前受金	140,622	105,944
預り金	20,895	20,484
賞与引当金	266,708	300,960
役員業績報酬引当金	27,172	30,000
その他	226	—
③ 固定負債	953,685	955,975
リース債務	1,991	—
繰延税金負債	—	17,935
退職給付引当金	868,917	856,851
その他	82,776	81,188
負債合計	7,700,341	6,580,101
(純資産の部)		
株主資本	11,913,517	12,405,799
資本金	4,175,416	4,175,416
資本剰余金	3,468,202	3,468,202
資本準備金	3,468,202	3,468,202
利益剰余金	5,702,358	6,026,836
利益準備金	449,500	449,500
その他利益剰余金	5,252,858	5,577,336
別途積立金	2,392,500	2,392,500
繰越利益剰余金	2,860,358	3,184,836
自己株式	△1,432,460	△1,264,656
評価・換算差額等	985,500	1,154,738
その他有価証券評価差額金	985,659	1,154,738
繰延ヘッジ損益	△158	—
④ 純資産合計	12,899,018	13,560,537
負債及び純資産合計	20,599,360	20,140,639

Point ② 固定資産

前期末に比べ8千1百万円減少し、73億7千6百万円となりました。これは主に、投資有価証券が3億5千1百万円増加したものの、有形固定資産が4億6千万円減少したためです。

損益計算書

(単位：千円)

科 目	第72期 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)	第73期 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)
売上高	11,756,345	12,919,769
売上原価	10,360,527	10,677,304
売上総利益	1,395,817	2,242,465
販売費及び一般管理費	1,619,817	1,819,342
営業利益又は営業損失 (△)	△224,000	423,122
営業外収益	139,238	97,681
受取利息	503	503
受取配当金	48,005	47,763
固定資産賃貸料	33,694	34,743
雇用調整助成金	48,652	—
その他	8,383	14,671
営業外費用	45,368	45,897
支払利息	18,100	10,201
固定資産賃貸費用	19,528	19,719
コミットメントフィー	6,684	9,991
その他	1,055	5,984
経常利益又は経常損失 (△)	△130,130	474,906
特別利益	724,100	254,055
投資有価証券売却益	161,472	254,055
受取補償金	562,627	—
税引前当期純利益	593,969	728,962
法人税、住民税及び事業税	215,457	219,017
法人税等調整額	△30,455	5,857
当期純利益	408,967	504,086

Point ③ 流動負債及び固定負債

流動負債は前期末に比べ11億2千2百万円減少し、56億2千4百万円となりました。これは主に、電子記録債務が3億3百万円増加したものの、短期借入金が12億3千万円減少したためです。また固定負債は前期末に比べ2百万円増加し、9億5千5百万円となりました。

Point ④ 純資産

前期末に比べ6億6千1百万円増加し、135億6千万円となりました。これは主に、繰越利益剰余金が3億2千4百万円、その他有価証券評価差額金が1億6千9百万円それぞれ増加したこと及び自己株式が処分により1億6千7百万円減少したためです。

キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

科 目	第72期 (2020年4月1日～ 2021年3月31日)	第73期 (2021年4月1日～ 2022年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	2,050,587	187,123
⑤ 投資活動による キャッシュ・フロー	△366,632	△251,207
⑥ 財務活動による キャッシュ・フロー	1,051,275	△1,253,656
現金及び現金同等物 に係る換算差額	189	927
現金及び現金同等物 の増減額	2,735,420	△1,316,812
現金及び現金同等物 の期首残高	4,241,168	6,976,589
現金及び現金同等物 の期末残高	6,976,589	5,659,776

Point ⑤ 投資活動によるキャッシュ・フロー

主に、投資有価証券の売却により2億7千5百万円増加したものの、有形固定資産の取得で3億5千万円及び投資有価証券の取得で1億6千3百万円支出したことにより、資金は2億5千1百万円減少しました。

Point ⑥ 財務活動によるキャッシュ・フロー

主に、自己株式の処分により1億5千7百万円増加したものの、短期借入金の返済により12億3千万円及び配当金で1億6千8百万円支出したことにより、資金は12億5千3百万円減少しました。

産学行政連携による共同研究結果を発表

愛知県及び公益財団法人科学技術交流財団が実施する産学行政連携の研究開発プロジェクト（知の拠点あいち重点研究プロジェクト）において、当社が参加するプロジェクトチームは、金属3Dプリンターによるインライン計測*可能な超硬合金製金型の開発と性能の実証に成功し、2022年2月8日に愛知県庁にて記者発表を行いました。

金型を使用した製品製造のインライン計測は、金型内にセンサ等を内蔵するための複雑な内部構造が必要となるものの、超硬合金は極めて硬く、通常の削りだしによる方法では超硬合金製の金型製作が難しく、非常に困難でありました。

しかし、今回のプロジェクトにおいては、新たに開発された金属3Dプリンター用超硬合金粉末等を用い、複雑な内部構造を有する超硬合金製金型を製作することで、超硬合金製金型を使用した製品製造のインライン計測をすることが容易になりました。これにより製品精度、品質及び生産性の向上など、多くのメリットが得られることが期待されます。

当社は、今回のプロジェクトにおいて、センサ等の内蔵を可能とする複雑な内部構造を有する超硬合金製金型の設計及び加工、量産設備による実証試験及びそれらの評価に主に携っております。今後も、当社製品の精度向上及び研究開発力の強化を図るため、当社独自の新たな研究開発はもとより、産学行政連携による共同での研究開発も引き続き行ってまいります。

* インライン計測：生産ライン上で、生産ラインを稼働させながらリアルタイムで温度や圧力などの計測を行う方法。



大型プレス機械の組立工場の建設決定

世界的な自動車の電動化が加速度的に進む中、車載用リチウムイオン電池生産用として、当社プレス機械の受注もこれまでにない水準で推移しております。かかる状況に対して、特に大型プレス機械の生産体制の強化及び納期短縮を図るべく新たな組立工場の建設を決定いたしました。

新組立工場は、2018年9月に本社敷地内にて竣工した、大型プレス機械の組立工場である第3組立工場と同規模を確保し、その建設場所も第3組立工場の隣に建設することにより、新旧両工場の連携のもと部品供給等をスムーズ且つ迅速に行うなど生産能力の強化とともに生産効率の向上をも図ってまいります。

当社は、今後とも、市場の需要増加に効果的に対応して業績の向上に努めてまいります。



第3組立工場

岡谷鋼機株式会社との資本業務提携

当社と岡谷鋼機株式会社（以下、「岡谷鋼機」と表記いたします。）は、2021年12月23日付けにて資本業務提携契約を締結いたしました。

当社と岡谷鋼機とは、今回の資本業務提携以前より、当社精密金属加工品製造に係わる原材料調達や当社が製造するばね機械及びプレス機械の海外販売における取引等を行っておりますが、今後の両社の発展には、より緊密な取引・協力関係が非常に重要と判断し、今回の資本業務提携へと至りました。

今回の資本業務提携により、岡谷鋼機の保有する世界23ヶ国にわたる国内外ネットワークを活用した当社製品の販路拡大、原材料調達等の新規商流の開拓等をはじめ、両社の強みや経営ノウハウ等を有効活用し、企業価値の向上を目指してまいります。

株主優待のご案内

(1) 対象となる株主さま

毎年3月31日現在の当社株主名簿に記載された100株（1単元）以上保有の株主さまを対象とさせていただきます。

(2) 優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	QUOカード 1,000円分

(3) 謹呈の時期

毎年1回、当社定時株主総会終了後の6月下旬発送を予定しております。



株式の状況

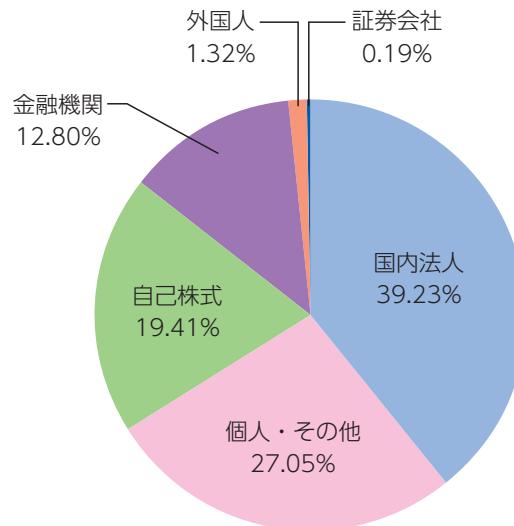
(2022年3月31日現在)

■発行可能株式総数	5,824,900株
■発行済株式の総数	3,088,739株
■株主数	2,214名
■1単元の株式数	100株
■大株主	

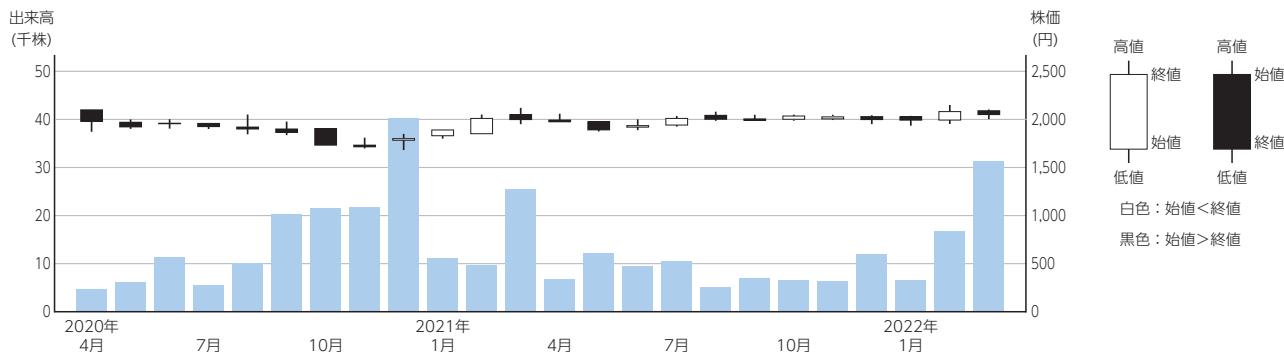
株主名	持株数(株)	持株比率
古河電気工業株式会社	455,800	18.31%
旭化成株式会社	168,900	6.78%
岡谷鋼機株式会社	164,600	6.61%
オークマ株式会社	120,000	4.82%
三谷伸銅株式会社	119,073	4.78%
株式会社三菱UFJ銀行	106,084	4.26%
東京海上日動火災保険株式会社	86,515	3.47%
株式会社みずほ銀行	56,507	2.27%
株式会社名古屋銀行	45,000	1.80%
MSIP CLIENT SECURITIES	40,600	1.63%

(注) 持株比率は、自己株式(599千株)を控除して計算しております。

■所有者別株式分布 (2022年3月31日現在)



■出来高及び株価の推移



会社の概要

■会社概要 (2022年3月31日現在)

商号	旭精機工業株式会社 (ASAHI-SEIKI MANUFACTURING CO.,LTD.)
設立	1953年8月11日
資本金	41億7千5百万円
事業内容	精密金属加工品、小口径銃弾、プレス機械、ばね機械、自動機・専用機、航空機部品等の製造及び販売
従業員数	502名
拠点	
本社・工場	〒488-8655 愛知県尾張旭市旭前町新田洞5050番地の1 TEL (0561) 53-3112(代表)
東京支店	〒113-0034 東京都文京区湯島一丁目6番3号 TEL (03) 5805-6991
大阪営業所	〒564-0063 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号 TEL (06) 6368-6251
ドイツ駐在員事務所	Oststrasse 54 D-40211 Düsseldorf, Germany

■取締役及び監査役 (2022年6月29日現在)

取締役社長	神谷 真二
常務取締役	工野 浩義
常務取締役	白石 憲生
取締役	松原 幸弘
取締役	石村 淳
取締役	青木 潤
取締役	坂野 彰
社外取締役	溝田 義昭
社外取締役	山脇 宏
常勤監査役	金 厚博
社外監査役	馬場 紀彰
社外監査役	上総 英男

ホームページのご案内

当社ホームページでは、製品情報やIR情報など、皆さまに当社を知っていただくための各種情報を発信しております。

是非ご覧ください。

旭精機工業

検索

<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>



▲トップページ

■株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月
- 配当金受領株主確定日 3月31日
- 公告方法 電子公告(当社ホームページをご覧ください。)
<https://www.asahiseiki-mfg.co.jp/>
- 株式上市市場 名古屋証券取引所(メイン市場)
- 証券コード 6111

■株式に関するお手続きについて

- 各種のお手続き、ご照会等のお問い合わせ先は以下のとおりです。

お手続き、ご照会等の内容	証券会社の口座に記録された株式	特別口座に記録された株式
●住所・氏名等の変更	お取引の証券会社	三菱UFJ信託銀行 証券代行部
●単元未満株式の買取・買増請求		
●配当金の受領方法の指定・変更		
●特別口座から証券口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部	
●支払期間経過後の配当金に関するご照会		
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会		
●その他のお問い合わせ		

- 三菱UFJ信託銀行 証券代行部の連絡先等は以下のとおりです。

- 郵便物の送付先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
- 電話でのお問い合わせ先 0120-232-711(通話料無料)
- 手続き書類のご請求方法 インターネットによるダウンロード <https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

 旭精機工業株式会社

UD
FONT

見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。

